

# 道路ユーザーネットワーク広場

NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK



山頂と山小屋が見える最後の登りが一番気持ちいい紅葉地帯



30張の一等地でいつか朝目を拝みたい。10月より宿はGoToトラベル対象に。

紅葉と聞いたなら居ても立っても居られず、一年ぶりの日帰り山行に行ってきた。最後まで天気予報とアクセス状況(登山口までの工事状況)と睨めっことして決めたのは、昨年同じ時期に登った燕岳(標高二七三メートル)。新しい山にもチャレンジしたかったのですが、燕岳は毎日登りたいほど天好きな山なので、問題ないどころか嬉しくてたまりません。装備をいつものトレランから軽外渡航歴ある方はNGとあります。私は不織布のマスクをアゴにかけて取ったり付けたりを繰り返していましたが、アルプス初心者にも人気の燕岳は常に人が多いので、つけっぱなしが正解かもしれません。観察するも完全予約かつ三密回避で営業形態を変えたところが多かった。夏場はみんなややや暗黒。登っていいのかな?富士山はダメだしなあ。でも、GoT



三好礼子 エッセイスト・元国際ライター ~ http://www.fairytale.jp/~

★三好礼子の★  
ナチュラル・ロード

が進む中、どちら側にもある種のカチカチが見えてきたような気がします。私もごく自然に「そっ、山へ行こう」と思い立ち、そこには暗黒の間はありませんでした(グレイくらい?)。駐車場は奇跡的に一番近いところがポコッと開いて、停められました。幸先よし、

登山口の看板には、「マスコ・体温計・アルコール・宿泊はシート持参。ゴミ持ち帰り。二週間以内には外渡航歴ある方はNG」とあります。私は不織布のマスクをアゴにかけて取ったり付けたりを繰り返していましたが、アルプス初心者にも人気の燕岳は常に人が多いので、つけっぱなしが正解かもしれません。観察するも完全予約かつ三密回避で営業形態を変えたところが多かった。夏場はみんなややや暗黒。登っていいのかな?富士山はダメだしなあ。でも、GoT



ハロー、イルカちゃん。花崗岩ならではのカタチが楽しめる山頂への尾根。



登山口への林道で法面の落石防止工事中。お陰様で登れます!感謝。

この最近、週に3日は標高三百メートルほどの裏山でトレランやジョギングをしていたので、燕岳への合戦小屋尾根コースは軽快に進みました。レースに敗れると「練習しないは嘘つかないなあ」と嘆きます。今回は「練習は嘘つかない」と嬉しくなりまして。そもそもマスコのように動いて生きてきた私にとって、今回のコロナ波は、ボディプロのように効いていました(自粛中、カフェにやってくる県外ライダーを断るのが一番辛かった)。最後は胃潰瘍になりそう。9月になって草の成長が収まって庭作業がひと段落した時に、「もうやだー走る」と野山を疾走し始めると、心身のバランスが取れたのでし

よう、即座に生きています。参考になります。私はコロナ対策のマスク着用で花粉症が治ったのですが、春シーズン登山もマスクでランルン行けそうな気がして、なんだかニコニコしっぱなし。

この最近、週に3日は標高三百メートルほどの裏山でトレランやジョギングをしていたので、燕岳への合戦小屋尾根コースは軽快に進みました。レースに敗れると「練習しないは嘘つかないなあ」と嘆きます。今回は「練習は嘘つかない」と嬉しくなりまして。そもそもマスコのように動いて生きてきた私にとって、今回のコロナ波は、ボディプロのように効いていました(自粛中、カフェにやってくる県外ライダーを断るのが一番辛かった)。最後は胃潰瘍になりそう。9月になって草の成長が収まって庭作業がひと段落した時に、「もうやだー走る」と野山を疾走し始めると、心身のバランスが取れたのでし

町のカッチャフリーズは、その中の海軍の町、そして、今回の場所にはまだ行って施設の名前は「ひみつ基地ミュージアム」。何れとも応援の気持ちを込めて紹介させていただきます。

太平洋戦争末期の1943年、山地に囲まれた海のない吉野地に造られたのが吉野海軍航空基地です。全長1500m、幅50mのコンクリート製滑走路を持つ飛行場と、本部庁舎や兵舎が建ち並ぶ居住地区からなる本格的な航空基地でした。その後、戦況が悪化していくにつれて特攻訓練基地へと役割を変え、本土決戦に備えて膨大な数の地下施設が造られていき、地下には作戦室や無線室、弾薬庫、工場などが計画され、ほとんどが現存しています。

九州の散歩道  
山中にある海軍の「秘密基地」  
フリージャーナリスト 湯浅玲子

ハット  
思いました

先日、高速道路の最高速度が時速120kmの区間が始まりまして。クルマの性能は向上していますから、それなりの新機能を持っていくクルマであればさほど問題は無いでしょう。クルマそのものは、

その中で、手に放し運転をアピールしているテレビコマーシャルを見るたびに、新時代の到来を喜ぶ気持ちよりも、未来への不安と恐怖と絶望感すら感じています。



人は何処に行ってしまうのか、映画のターミネーターみたいな世界になってしまわないかと。ITのAIだのキャッシュレの部分が排除する事こそが、新時代だと言わばかりに世は流れていきます。言時代から親しまれてきました。自然の花々を愛でて、心豊かに日々をおくる。人仕事を奪い去りにしかできない事。この人との関わり、人へえ、そんな「遠い過去の事」につなげるのでしょうか。

この周辺は終戦から現在に至るまで景色が大きく変わっていません。また地下施設をはじめとした多くの戦争遺跡が、ほぼそのまま残されている全国的にもめずらしい場所なのです。例えば資料館が建っているのは滑走路跡の上。今では一部道路として人々に利用されている滑走路跡を、自分の目で確かめることができます。

資料館の目玉は、この手つかずの戦跡を生かしたガイドツアー。実際に地下壕に入って、地雷調整場や作戦室・無線室、地下兵舎などを見学できます。認定を受けたガイドが、戦争体験者の証言やエピソードを交えながら解説もしてくれます。

また資料館の内部には基地の歴史や発掘品が展示され、当時の生活の様子などがわかります。

高年齢社会やユニバーサルデザイン化、過疎化や就職難等の問題解決が一層重要視されるべきかと思つていますが、何だか的外れ? 季節は十月、秋です。「ハギ・キキョウ・クス・フジバカマ・オミナエシ・オバナ(ススキ)・ナデン」は秋の七草。季節を楽しむ秋の季節語して万葉の時代から親しまれてきました。自然の花々を愛でて、心豊かに日々をおくる。人仕事を奪い去りにしかできない事。この人との関わり、人へえ、そんな「遠い過去の事」につなげるのでしょうか。



滑走路跡の上に建つ「ひみつ基地ミュージアム」  
ガイドツアーで入ることができ地下の魚雷調整場